第133回

2018.5.18

企業経営動向調査

公益財団法人 徳島経済研究所

調 査 目 的 徳島県内の企業動向を的確に把握すること

对象企業 県内主要企業300社、回答企業190社、回答率63.3%

調査対象期間 2018年1~3月期の実績、4~6月期および7~9月期の予想

調 査 時 点 2018年4月上旬~下旬

要約

2018年 1 ~ 3 月期の業況判断は悪化 4~6 月期は改善し、7~9 月期もやや改善の見通し

県内企業(全産業)経営動向調査結果によれば、業況判断BSIについて、2017年10~12月期と比べ2018年1~3月期(前期→当期:2→ \triangle 13)は悪化した。前回調査時の予想 (\triangle 12)と比べると、ほぼ横ばいとなっている。業種別でも、製造業 (同: \triangle 5→ \triangle 17)、非製造業(同:5→ \triangle 12)ともに悪化した。

先行きについて、 $4\sim6$ 月期の業況判断(\triangle 8)は、悪化を予想する企業の比率が低下することなどから、改善する見通し。また、 $7\sim9$ 月期の業況判断(\triangle 4)もやや改善する見通しである。

2018年1~3月期の設備投資は、実施企業の比率は前年同期から低下したが、総投資額は製造業、非製造業ともに増加し、同31.6%増の約185億円となった。先行き4~6月期の計画も、実施企業の比率は前年同期から低下するものの、金額は同38.4%増の見込みとなっている。

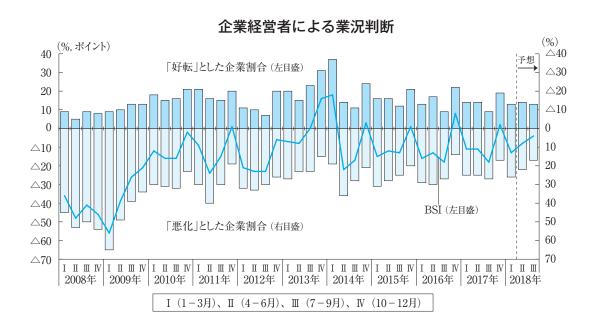
今後1年間の設備投資意欲については、前期と比べ、製造業、非製造業とも悪化している。

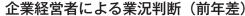
1. 概 況 (全産業)

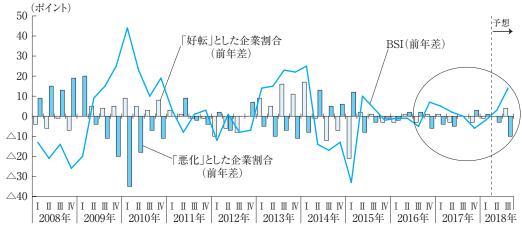
【2018年1~3月期の実績】 業況判断は悪化、前回調査時と比べるとほぼ横ばい

県内企業の当期 (2018年 1 ~ 3 月期、以下同じ)の BSI (業況が「好転 (増加)」と回答した企業割合から「悪化 (減少)」と回答した企業割合を引いた数値)でみると、前期 (2017年10~12月期)と比べ、売上げ BSI (19→ \triangle 6 (前回調査時の予想 \triangle 12))、収益 BSI (10→ \triangle 11 (同 \triangle 10))、業況判断 BSI (2 → \triangle 13 (同 \triangle 12)、上の図表)はともに悪化した。

季節性の動きを取り除くために、業況判断 BSI の前年同期差をみると(下の図表)、前期($\triangle 6$)まで4期連続で低下していたが、当期($\triangle 2$)は上昇に転じており、県内景気が持ち直している状況がここでも現れている。







I (1-3月)、II (4-6月)、II (7-9月)、IV (10-12月)

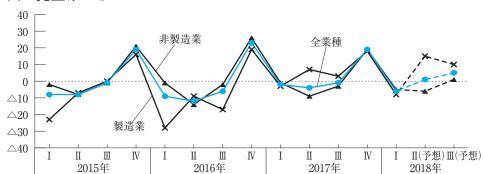
【2018年4~6月期の予想】 **業況判断は改善する見通し**

 $4 \sim 6$ 月期の予想は、 $1 \sim 3$ 月期に比べ売上げBSI (△ $6 \rightarrow 1$)、収益BSI (△ $11 \rightarrow$ △5)、業況判断BSI (△ $13 \rightarrow$ △8)はともに改善する見通しである。この業況判断BSIは、前年同期実績(△11)と比べやや改善となっている。

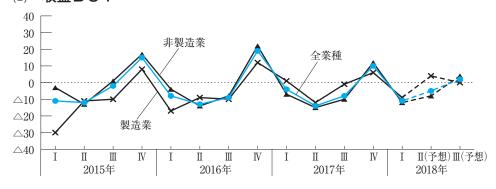
【2018年7~9月期の予想】 業況判断はやや改善する見通し

 $7 \sim 9$ 月期の予想は、 $4 \sim 6$ 月期に比べ、収益 B S I ($\triangle 5 \rightarrow 2$)は改善し、売上 げ B S I ($1 \rightarrow 5$)、業況判断 B S I ($\triangle 8 \rightarrow \triangle 4$)もやや改善する見通し。この業況判断 B S I は前年同期実績($\triangle 18$)と比べ改善となっている。

(1) 売上げBSI



(2) 収益BSI



(3) 業況BSI



2. 製造業の動向

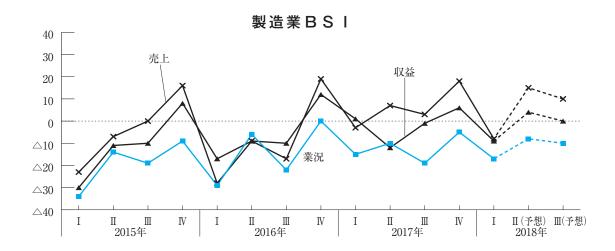
【製造業の現状】 業況判断は悪化

前期に比べ、売上げBSI($18\to\triangle$ 8(前回調査時の予想 \triangle 14))、収益BSI($6\to\triangle$ 9(同 \triangle 15))、業況判断BSI(\triangle 5 $\to\triangle$ 17(同 \triangle 11))はともに悪化した。前年同期と比べると、売上げBSI(\triangle 3 \to \triangle 8)、収益BSI($1\to\triangle$ 9)は悪化、業況判断BSI(\triangle 15 \to \triangle 17)はほぼ横ばいとなっている。

【先 行 き】 業況判断は、4~6月期は改善の一方、7~9月期はほぼ横ばいの見通し

 $4 \sim 6$ 月期の予想をみると、当期に比べ、売上げBSI(△8→15)、収益BSI(△9→4)、業況判断BSI(△17→△8)はともに改善する見通し。この業況判断BSIの予想は、前年同期(△10)とほぼ横ばいとなっている。

 $7 \sim 9$ 月期の予想は、 $4 \sim 6$ 月期予想に比べ、売上げBSI $(15 \rightarrow 10)$ 、収益BSI $(4 \rightarrow 0)$ はやや悪化、業況判断BSI $(\triangle 8 \rightarrow \triangle 10)$ はほぼ横ばいとなる見通し。もっとも、この業況判断BSI は、前年同期 $(\triangle 19)$ よりも 9 ポイント上回っている。



3. 非製造業の動向

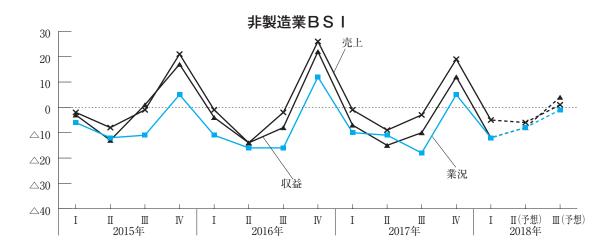
【非製造業の現状】 業況判断は悪化

前期に比べ、売上げBSI(19→ \triangle 5(前回調査時の予想 \triangle 11))、収益BSI(12→ \triangle 12(同 \triangle 9))、業況判断BSI(5→ \triangle 12(同 \triangle 12))はともに悪化した。前年同期と比べると、売上げBSI(\triangle 1→ \triangle 5)、収益BSI(\triangle 7→ \triangle 12)はやや悪化、業況判断BSI(\triangle 10→ \triangle 12)はほぼ横ばいとなっている。

【先 行 き】 業況判断は、4~6月期はやや改善、7~9月期も改善の見通し

 $4 \sim 6$ 月期の予想をみると、当期に比べ、売上げBSI($\triangle 5 \rightarrow \triangle 6$)はほぼ横ばい、収益BSI($\triangle 12 \rightarrow \triangle 8$)、業況判断BSI($\triangle 12 \rightarrow \triangle 8$)はともにやや改善する見通し。この業況判断BSIの予想は、前年同期($\triangle 11$)と比べやや改善となっている。

 $7 \sim 9$ 月期の予想は、 $4 \sim 6$ 月期予想に比べ、売上げBSI($\triangle 6 \rightarrow 1$)、収益BSI($\triangle 8 \rightarrow 4$)、業況判断BSI($\triangle 8 \rightarrow \triangle 1$)はともに改善する見通し。また、この業況判断BSIは、前年同期($\triangle 18$)と比べ改善している。



4. 設備投資の動向

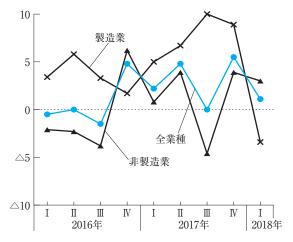
回答企業(全産業)のうち、2018年1~3月期において1百万円以上の設備投資(新規リース契約を含む)を実施した企業は全体の35.8%、総投資額は184億円58百万円(うち県内投資額は171億49百万円)であった。前年同期と比較すると、総投資額は、製造業、非製造業とも増加したことから、全体でも31.6%増となった(前期比でも34.0%増)。もっとも、実施企業の割合は5.7ポイント低下した。

先行きの計画をみると、4~6月期の 実施企業割合は35.3%で前年同期より5.7 ポイント低下の一方、総投資額は約209億 円で前年同期比38.4%増の見込み。7~ 9月期の総投資額は、約233億円で同 18.8%増の見込みである。

今後1年間の設備投資意欲(全産業)は、「増やしたい」が17.9%、「減らしたい」が16.8%、「ほぼ変わらない」が65.3%となった。「増やしたい」から「減らしたい」を差し引いた比率(+1.1ポイント)は、前期(+5.5ポイント)と比べ低下している。

設備投資意欲

(増やしたいとした割合) - (減らしたいとした割合)



設備投資額(支払ベース)



製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、42.4%で前年同期より6.0ポイント低下した。総投資額は、167億19百万円(前年同期125億64百万円)で、大手電気機械を中心に前年同期比33.1%増となった。うち、県内投資額は157億1百万円(同117億92百万円)となっている。

設備投資を目的別にみると、前期と比べ、「増産・拡販のため」の比率が低下、「既存設備の補修更新」、「合理化・省力化」は上昇となっている。

先行きの計画について、 $4\sim6$ 月期の総投資額は約189億円で前年同期比39.1%増、 $7\sim9$ 月期は約198億円で同38.1%増の見込みである。

今後1年間の投資意欲について、先行き「増やしたい」とする企業割合(25.4%)が「減らしたい」とする企業割合(28.8%)を3.4ポイント下回り、この差は9期ぶりにマイナスとなった。

非製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、32.8%で前年同期より5.4ポイント低下した。一方、総投資額は17億39百万円(前年同期14億62百万円)で、卸売業、運送業、小売業での増加を主因に、前年同期比18.9%増となった。県内投資額は14億48百万円(同13億49百万円)となっている。

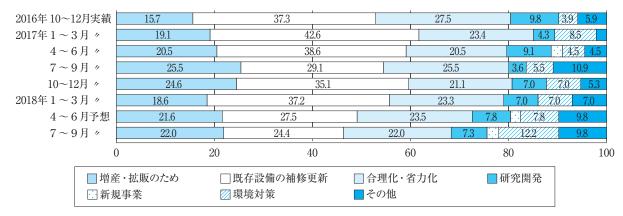
目的別にみると、前期と比べ、「拡販のため」の比率が低下、「既存設備の補修更新」がほぼ横ばい、「合理化・省力化」は上昇となっている。

先行きの計画について、 $4 \sim 6$ 月期の総投資額は約20億円で前年同期比31.8%増の一方、 $7 \sim 9$ 月期は約35億円で同34.0%減となる見込みである。

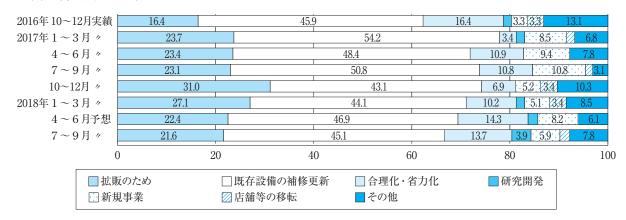
今後1年間の投資意欲は、先行き「増やしたい」とする企業割合 (14.5%) が「減らしたい」とする企業割合 (11.5%) を3.0ポイント上回ったが、2 期ぶりに低下した。

設備投資の目的

(1) 製 造 業



(2) 非製造業



(複数回答)

回答企業の概要

(社)

/ *	
(- 1/2-	١ ما
して	1 /

					(17)
		総	数	製造業	非製造業
	1百万円未満		0	0	0
資	1~3百万円未満		1	1	0
本	3~5百万円未満		4	0	4
金	5~10百万円未満		3	1	2
資本金規模	10~50百万円未満		107	27	80
模	50~1億円未満		47	18	29
	1億円以上		28	12	16
	計		190	59	131
	10人未満		21	5	16
	10~ 30人未満		38	11	27
従	30~ 50人未満		39	10	29
業	50~100人未満		29	5	24
員	100~200人未満		35	11	24
数	200~300人未満		11	7	4
	300~		17	10	7
	計		190	59	131

		(11.)
	業種	回答
	食料品	7
	繊維製品	4
製	木材・木製品	11
10	パルプ・紙	3
造	化学工業	6
عالاء	窯業・土石	6
業	機械・金属	16
	その他	6
	計	59
	建設業	19
	運送業	11
非	卸売業	36
製造	小売業	26
業	サービス業	38
714	その他	1
	計	131
	総 数	190

参考資料

BSI

(1) 業況判断

(単位:%, ポイント)

	全産業				製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2016年7~9月実績	9	64	27	△18	8	62	30	△22	9	66	25	△16
10~12月 〃	22	64	14	8	19	62	19	0	24	64	12	12
2017年1~3月 〃	14	61	25	$\triangle 11$	15	55	30	△15	13	64	23	△10
4~6月 //	14	61	25	$\triangle 11$	10	70	20	△10	16	57	27	△11
7~9月 〃	9	64	27	△18	8	65	27	△19	9	64	27	△18
10~12月 〃	19	64	17	2	16	63	21	\triangle 5	20	65	15	5
2018年1~3月 //	13	61	26	△13	14	55	31	△17	12	64	24	△12
4~6月予想	14	64	22	△ 8	15	62	23	△ 8	14	64	22	△ 8
7~9月 〃	13	70	17	\triangle 4	12	66	22	△10	14	71	15	$\triangle 1$

(2) 売上げ判断

(単位:%, ポイント)

	全産業				製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2016年7~9月実績	26	42	32	△ 6	20	43	37	△17	28	42	30	$\triangle 2$
10~12月 〃	43	37	20	23	40	39	21	19	45	36	19	26
2017年1~3月 〃	28	42	30	\triangle 2	27	43	30	\triangle 3	29	41	30	$\triangle 1$
4~6月 //	30	36	34	\triangle 4	32	43	25	7	29	33	38	\triangle 9
7~9月 〃	28	43	29	$\triangle 1$	30	43	27	3	27	43	30	\triangle 3
10~12月 〃	40	39	21	19	41	36	23	18	39	41	20	19
2018年1~3月 〃	28	38	34	△ 6	29	34	37	△ 8	27	41	32	△ 5
4~6月予想	27	47	26	1	34	47	19	15	24	46	30	\triangle 6
7~9月 〃	24	57	19	5	29	52	19	10	21	59	20	1

(3) 経常利益判断

(単位:%, ポイント)

	全産業				製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2016年7~9月実績	25	41	34	△ 9	25	40	35	△10	25	42	33	△ 8
10~12月 〃	41	37	22	19	36	40	24	12	43	36	21	22
2017年1~3月 〃	27	42	31	\triangle 4	28	45	27	1	26	41	33	\triangle 7
4~6月 //	22	42	36	$\triangle 14$	20	48	32	$\triangle 12$	23	39	38	△15
7~9月 〃	23	46	31	△ 8	27	45	28	$\triangle 1$	22	46	32	△10
10~12月 〃	33	44	23	10	36	34	30	6	32	48	20	12
2018年1~3月 〃	23	43	34	△11	27	37	36	△ 9	21	46	33	△12
4~6月予想	23	49	28	\triangle 5	29	46	25	4	21	50	29	△ 8
7~9月 〃	23	56	21	2	24	52	24	0	23	58	19	4

(注) BSI=(好転)-(悪化)